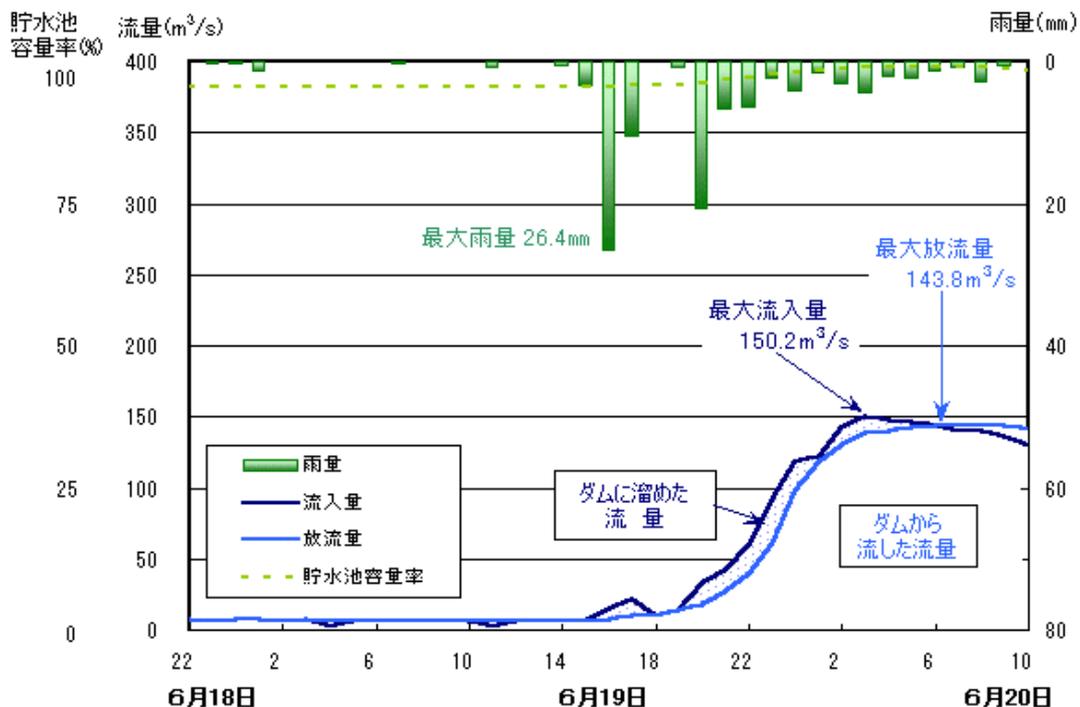


日吉ダムの洪水調節(6月20日 梅雨前線)について

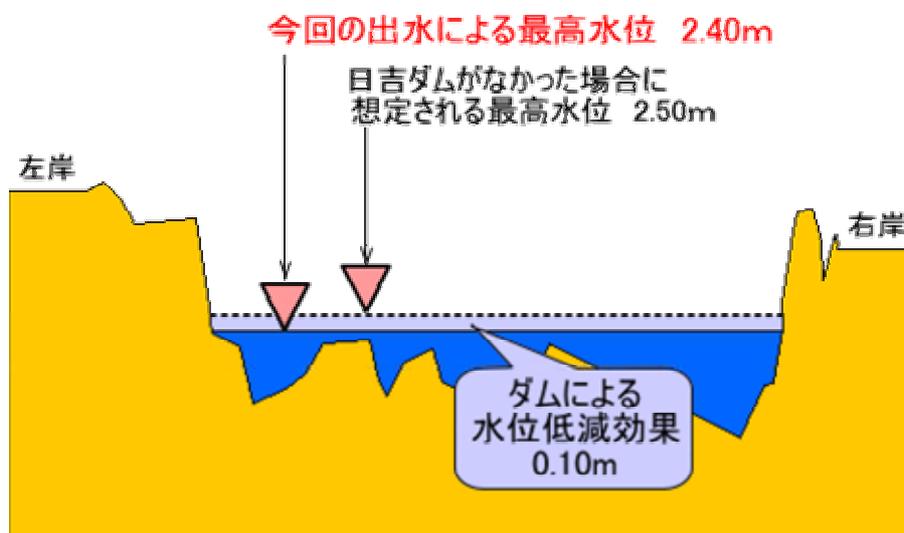
●日吉ダムで今年初めての洪水調節を実施●

梅雨前線は、近畿地方を含む広い範囲に大雨をもたらしました。淀川水系桂川の日吉ダム(京都府船井郡日吉町)上流域でも、6月18日22時から6月20日9時にかけて、流域平均の1時間当たり最大雨量 **26mm** を記録し、総雨量は 103mm に達しました。

この降雨による出水に対し、日吉ダムでは、最大流入量毎秒 **約150m³** のうち、毎秒 **約12m³** を調節し、**約580,000m³** を貯留しました。



今回の日吉ダムにおける洪水調節は、今年については初めて実施したものであり、その効果を下流の亀岡地点において試算すると、今回の最高水位 **2.40m** に対して、ダムがなかった場合の水位は **2.50m** と試算されました。この、**2.50m** は亀岡地点の指定水位であるため、水防対策に関してより一層の準備、警戒が必要であったものと推定されます。



日吉ダムでは、今後も治水・利水の両面でダム管理に万全を期し、ダムの効果発現に努めてまいります。